

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
日本理工情報専門学校	昭和52年4月1日	瓶井 修	〒533-0015 大阪市東淀川区大隅 1-1-25 (電話) 06-6329-6553			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人瓶井学園	昭和58年9月26日	瓶井 剛	〒533-0011 大阪市東淀川区大桐2丁目6-6 (電話) 06-6329-6553			
目 的	二級自動車整備士の取得が目標であり、その資格を活かせる職業に就くことができる技術者の育成を目的としている					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	自動車整備科	2年(昼間部)	2380単位時間 (又は単位)	平成19年文部科学大臣告示20号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	704単位時間 (又は単位)	272単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1404単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	61人	4人	7人	10人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日 ■			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 年間4回の定期試験 実習・演習の評価	
長期休み	■学年始め：4月15日 ■夏 季：7月21日～8月31日 ■冬 季：12月25日～1月7日 ■学 年 末：3月15日 ■学年始め：			卒業・進級条件	履修科目の全単位取得	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡・警告文送付・保護者懇談			課外活動	■課外活動の種類 電力施設見学 ■サークル活動 (有・無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 自動車整備業 ■就職率 <sup>※1</sup> 100% ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>※2</sup> 96.9% ■その他(任意) (平成28年度卒業者に関する平成29年3月時点の情報)			主な資格・検定	二級自動車整備士	

中途退学の現状	<p>■中途退学者 7名 ■中退率 10.9%</p> <p>平成28年4月1日在学者 64名（平成28年4月入学者を含む） 平成29年3月31日在学者 57名（平成29年3月卒業者を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 経済的理由、病気、家庭の事情</p> <p>■中退防止のための取組 1時間目に欠席学生の自宅に電話し登校を促す。成績不振の学生への補習授業の実施 退学希望の学生に対し担任・責任者等3名以上が順に面談し翻意を促す</p>
ホームページ	URL: <a href="http://www.nrj.ac.jp">http://www.nrj.ac.jp</a>

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

マツダ(株)等の企業においてヒヤリングを行い教育課程編成委員会に諮り、企業のニーズに応える事ができる人材の育成に必要な内容を授業に反映させている。また、企業による実務に必要な知識習得のための演習や現場における体験実習を重視し授業科目に組み入れ易くするため授業時間割を1カ月ごとに組み替えるようにしている。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年5月26日現在

名 前	所 属
清水 政仁	一般社団法人情報通信エンジニアリング協会
糸尾 武則	自動車整備振興会高槻・三島地区会
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合
上田 茂久	公益社団法人 大阪府建築士会
小西 敏仁	ネッツトヨタニューリー北大阪株式会社
宮崎 吉雄	トナミ電工(株)
宮崎 一郎	トナミ電工(株)
増南 正	(有) スタジオ・マックス
石上 芳弘	イシウエヨシヒロ建築設計事務所
井端 賢次	テクノメック合資会社
篠原 史規	(有) 車楽工房
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社
中野 聡	株式会社ジェイファスト

(開催日時)

平成28年度

平成29年度

第1回 平成28年4月2日 13:30~14:50

第1回 平成29年4月8日 13:30~14:50

第2回 平成28年11月5日 13:30~14:50

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実務に必要な知識習得のための演習や現場における体験実習をできる限り組み入れ、学生が就業するであろう業界の実務の仕組みや技術レベルを知り、より適性のある職業を学生が選択でき実社会で活躍できることを望んでいる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
自動車検査	ワゴンRの点検実習を校内実習室において行う。	株式会社スズキ自販近畿
性能	自動車のカスタマイズ業務の実際を学ぶことが目的であり、ユーノスロードスターの車体・エンジンのカスタマイズ実習を行い、レース場でチューニング度合いを確認しながら走行実習を行う。教育課程編成委員会の意見により、走行場を名阪スポーツランドから舞洲スポーツアイランド・フリースペースに変更した。	有限会社 車楽工房
自動車検査	マツダ車の点検実習を校内実習室において行う。	大阪マツダ販売株式会社
自動車検査	スバル車の点検実習を校内実習室において行う。	大阪スバル株式会社

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

(一社)大阪府専修学校各種学校連合会の主催する教職員のための指導力向上講座や外部団体・企業・大学等が主催する講習、講演について事務局が全員に周知・奨励を行っている。  
希望者がいない場合は担当課長が指名して参加者を決める。

参加費用は全額学校が負担している。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年5月26日現在

名 前	所 属
宮崎 吉雄	トナミ電工(株)
増南 正	(有)スタジオ・マックス
石上 芳弘	イシウエヨシヒロ建築設計事務所
蔵敷 重壽	元 大阪市教育委員会事務局 高等学校教育課長
篠原 史規	(有) 車楽工房
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社
中野 聡	株式会社ジェイファスト
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合

(学校関係者評価結果の公表方法)

ホームページに公表

URL: <http://www.nrj.ac.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

ホームページ・学校案内

URL: <http://www.kamei.ac.jp/>

授業科目等の概要

(工業専門課程自動車整備科) 平成29年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			エンジン構造	ガソリン・ディーゼルエンジンの基本構造を主体とし、各装置ごとにも構造・機能を学習します。また、二輪自動車特異の構造・機能も学習します。	1	58	2	○		
○			シャシ構造	自動車が「走る」、「止まる」、「曲がる」ための原理と自動車に要求される性能、装置の構成及び安全装置について学習します。	1	34	1	○		
○			電装構造	自動車には数多くの電装品が使用されています。各装置の役目及び構造・作動のあらましについて学習します。	1	32	1	○		

○		力学	自動車に関係の深い、熱、力、仕事とエネルギー、圧力と応力について基礎的な原理・法則を学び、ボルト、ナット、ベアリング、ギヤなど多くの機械要素を学習します。	1	34	1	○		
○		電気工学	電気回路図、オームの法則などの基本となる電気の理論を学習します。	1	34	1	○		△
○		電子工学	半導体の基礎を学び電子回路を分かりやすく講義します。	1	20	1	○		△
○		材料	自動車には多様な種類の材料が使用されています。それぞれの材料の性質を学習します。	1	14	1	○		
○		燃料・潤滑剤	自動車に使用されている燃料と潤滑剤の種類、性質、用途などの基礎知識を学習します。	1	16	1	○		
○		製図	JISの機械製図を中心に、一部電気製図について学び、自動車整備士として必要な製図についての一般知識を学習します。	1	14	1	△		○
○		エンジン整備	ガソリン・ディーゼルエンジンの分解・組立て及び、点検・修正の要点を学習します。	1	34	1	○		
○		シャシ整備	自動車が「走る、止まる、曲がる」ための各装置及び、安全装置の点検・測定・調整、並びに分解、組立ての要点を学習します。	1	38	1	○		
○		電装整備	各電装品の作動具合の点検・調整及び、電子化された各部装置の機能、性能を学び、基礎整備作業の要点を学習する。	1	46	1	○		
○		整備作業機器	分解・組立て、部品交換などの基本作業に用いられる主な工具、機器類の用途、種類と構造及び、使用法について学習する。	1	12	1	○		
○		測定機器	主として長さ、振れ、曲がり、すき間などの計測する測定器について学習する。	1	12	1	○		
○		検査機器	自動車の検査に使用する各種機器の用途、構造及び使用法について学習する。	1	10	1	○		

○		手仕上げ工作	バイス、ヤスリ、弓のこを使用して、工作作業を行う。	1	12	1	△		○
○		機械工作	バイス、卓上ボール盤、タップ、ダイスを使用して、機械工作を行う。	1	12	1	△		○
○		基本計測	測定機器を使用して、長さ、すき間、振れ、曲がりなどを測定器の取扱に十分注意し、正確に計測を行う。	1	48	1	△		○
○		エンジン基礎 ガソリン	エンジンのオーバーホールをすることにより、レシプロエンジン本体の構造・機能を徹底的に学びます。	1	152	4	△		○
○		エンジン基礎 ディーゼル	小型ディーゼルエンジン燃焼室の確認、インジェクションポンプ構成部品の確認、インジェクションノズルの噴霧状態、噴射開始圧力の点検、調整方法を学習します。	1	40	1	△		○
○		シャシ基礎	動力伝達装置（クラッチ、トランスミッション、プロペラシャフト、ドライブシャフト、ディファレンシャル）の分解、点検、組立ての要点を実施しながら学習します。	1	160	4	△		○
○		二輪自動車基礎	エンジンの点検、調整、クラッチの状態の良否判定・点検・調整、ブレーキの点検・調整方法等のの要点を学習します。	1	48	1	△		○
○		電装基礎	バッテリーの取扱い、スタータ、オルタネータの作動、点検要領及び、点火装置の点検、調整方法の要点を学習します。	1	208	5	△		○
○		ビジネスリテラシー	挨拶、電話応対等の一般常識を学びます。	1	68	2		○	△
○		情報リテラシー	コンピュータの基本を学習します。	1	68	2		○	△
○		エンジン構造	ガソリン・エンジンの燃焼方式及び、バルブタイミングを学びエンジンの燃焼過程、排気ガスの発生過程と、その浄化対策について学習します。	2	42	2	○		△
○		シャシ構造	オートマチック・トランスミッション、ディファレンシャル、エア・サスペンション、ステアリング装置等の構造・機能を学習します	2	38	1	○		△

○		エンジン応用 ジーゼル	列型インジェクション・ポンプ、分配型インジェクション・ポンプの分解・組み立て及び、インジェクション・ポンプ・テストを使用し、調整方法の要点を学習する。	2	40	1	△		○
○		シャシ応用	油圧式パワーステアリングの点検、4輪アライメント・テストを使用してホイール・アライメントの点検・調整、油圧式ブレーキの点検方法の要点を学習します。	2	128	3	△		○
○		二輪自動車 応用	エンジン、トランスミッション、クラッチの分解、キャブレタの分解、点検、調整、アクセル及びサスペンションの分解、点検等の実習	2	48	1	△		○
○		電装応用	電子制御装置（圧力信号、吸入空気量信号、スロットル開度信号、アクセル・ペダル開度信号）の測定や車載電装部品の製作実習。	2	216	5	△		○
○		故障原因探 求	始動不良、アイドル不調、CO, HC 濃度が高い、電子制御式オートマチック・トランスミッションの不具合等、日常起こりえる故障を想定し、原因の探求と処置の方法を学ぶ。	2	72	2	△		○
○		自動車検査 作業	検査用機器を使用して、サイド・スリップ、ブレーキの制動力、ヘッドライト光度及び振れ、音量、スピード・メータの指示誤差及び指針の振れを、測定実習します。	2	56	2	△		○
合計				45 科目		2380 単位時間( 71 単位)			